



TEAM FUKUOKA NEWS

「チーム福岡」福岡県選手団サポートニュースレター

Today's news Flash



後半競技終了間近

踏ん張って得点を重ねるチーム福岡!

10月6日から始まった後半競技も、いよいよ大詰めとなった本日、本県チームは7競技に出場し、3種目で優勝、8競技で入賞を果たした。

明日の最終日は陸上競技の4種目が行われ、「おいでませ!山口国体」が閉幕する。

Topics



ウェイトリフティング競技 重量級が熱い!

105kg級に出場した白石選手は、C&J競技2回目の試技で早くも優勝を確定すると、3回目は大学新記録に挑戦。惜しくも失敗したが、見事2連覇を達成した。

続いて105kg超級に出場した太田選手。大会直前に怪我をし万全な体調には程遠い中、ドクター・トレーナーのサポートを受けながら出場したが、スナッチ競技で見事に4連覇を達成。

今後2人は、来年のロンドンオリンピックを目指してさらなる活躍が期待される。



陸上競技 4日連続の優勝者輩出!

陸上競技チームが、本日も大活躍を見せてくれた。

少年男子A三段跳びで阿比留選手が見事優勝。インターハイでは2位と悔しい思いをしていただけに今大会で雪辱を果たした。コンディションは良く自信を持って参加した本大会。風の影響がある中ファウルが多く見られたが、少ない成功試技の中で記録を伸ばし優勝に結びつけた。

指導に当たっている田ノ上コーチは、「優勝を狙って大会へ臨み、見事優勝できたことは、今後の自信にもつながると思う。本当によく頑張ってくれました。」と選手をねぎらった。

明日は、いよいよ競技最終日。本県からは、少年男子B3,000mに堀龍彦選手、少年女子A3,000mに木村友香選手が出場する。



ソフトボール少年女子 3位!

～延長戦のタイブレーカーで涙をのむ～

1回戦三重県を4対0、2回戦長崎県を3対0と、相手チームに力を見せつけ勝利を奪ってきた本県ソフトボールチーム。

準決勝となった本日、大阪府を相手に1回から一進一退の攻防が続いた。4回と6回には満塁となるチャンスを迎えたが、相手チームの好プレーに阻まれ無得点で終わり、遂に両チーム0対0のまま延長戦となるタイブレーカーへ。8回表に相手に1点を先制されて迎えた裏の攻撃。送りバントの成功で再び満塁のチャンスを迎えたが、遂に得点することができずに、0対1で惜敗した。



👉 バレーボール少年男子 惜しくも3位！

毎年、国体で上位入賞を果たしているバレーボール少年男子チーム。昨日の準決勝（対山口県）では、地元山口県の大応援団による完全なアウェーの中、2セットを連取するも、相手の反撃によりフルセットの末、2-3で惜敗した。その悔しさをバネに本日の3位決定戦では、千葉県を相手に3-0で快勝し、本県の実力を見せつけた。



👉 明日のために・・・ボクシング少年男子

ボクシング少年男子ウェルター級に、未来のHopeが登場した。東福岡高校の沖島翼選手は、高校1年生であり今回が国体初出場でありながら、見事2位の成績を収めた。昨日の準決勝では、親指を負傷し決勝戦での戦いが危ぶまれたが、ドクター・トレーナーによるサポートのもと、決勝戦では力の限り戦い大健闘した。



Result

■ウェイトリフティング競技

少年男子 105kg 級 久米田龍 スナッチ競技 4位

成年男子 105kg 超級 太田和臣 スナッチ競技 1位

105kg 級 白石宏明 C&J競技 1位 スナッチ競技 3位

■陸上競技

少年男子 A三段跳び 阿比留明久 1位

成年女子 400m 田中千智 4位

100H 紫村仁美 6位

■ボクシング競技

少年男子 ウェルター級 沖島翼 2位

■ソフトボール競技

少年女子 3位

■バレーボール競技

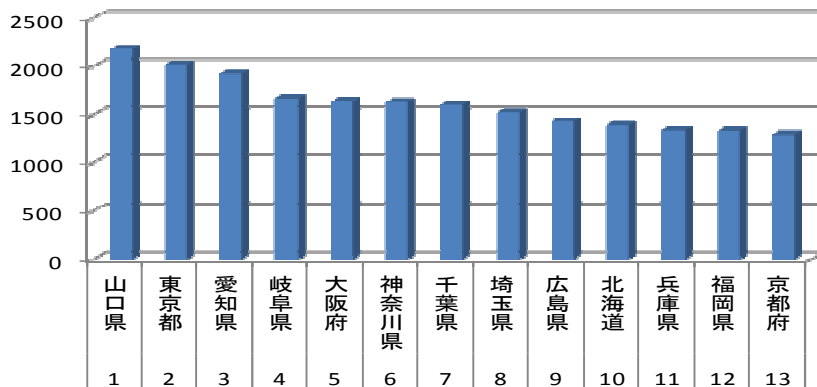
少年男子 3位

■相撲競技

成年男子個人戦 一ノ瀬康平 8位

Team Fukuoka Ranking Now

👉 チーム福岡 現在 12位
ライバル兵庫県とは、6点差。
昨年の千葉国体では、惜しくも
5点差で8位の座を譲ったが、
今年は、明日の陸上競技少年男
女 3,000mで逆転を狙う！



問い合わせ 担当: 鶴 英樹 090-3666-8232 tsuru-fukuokaken@japan-sports.or.jp

配 信 元 福岡県選手強化推進実行委員会 (福岡県教育庁体育スポーツ健康課内)